

2CH VARIABLE DELAY (Slide Switch)

N-TM 225b

取扱説明書

初版発行	2016年 09月 06日
最新改定	2016年 09月 06日
バージョン	1. 00

株式会社 テクノランドコーポレーション

〒190-1212

東京都西多摩郡瑞穂町殿ヶ谷 902-1

電話 : 042-557-7760

FAX : 042-557-7727

E-mail : info@tcnland.co.jp

URL : <http://www.tcnland.co.jp/>

目次

1	概要	4
2	仕様	5
2.1	構成.....	5
2.2	入出力について	5
2.3	入出力コネクタ	5
2.4	遅延時間	5
2.5	使用電源	5
2.6	筐体.....	5
3	使用方法	6
3.1	モジュールの設置	6
3.2	遅延時間の設定方法.....	6
4	フロントパネルイメージ	7

1 概要

N-TM 225b 2CH Variable Delay は、250pS から 7.75nS まで 250pS ステップで可変できるディレイモジュールです。

ディレイタイムの選択は、250pS, 500pS, 1nS, 2nS, 4nS のスライドスイッチの組み合わせで行います。N-TM 225b のディレイ回路は、特性インピーダンス 50Ω の同軸ケーブルで構成されています。同軸ケーブルなのでロジック信号からアナログ信号まで使用することが可能です。

2 仕様

2.1 構成

項目	内容
チャンネル数	2

2.2 入出力について

項目	内容
特性インピーダンス	50Ω
入力極性	無極性（アナログ信号、デジタル信号）
遅延回路	ケーブル長による
内部固定遅延時間	約 1nS

2.3 入出力コネクタ

項目	内容
コネクタ	レモ型（00.250タイプ）

2.4 遅延時間

項目	内容
遅延時間	250pS, 500pS, 1nS, 2nS, 4nS
スイッチ	スライドスイッチ（0nS~7.75nS まで 250pS ステップで可変）

2.5 使用電源

項目	内容
使用電源	なし

2.6 筐体

項目	内容
筐体	標準 NIM 規格 1 幅モジュール

3 使用方法

3.1 モジュールの設置

本モジュールは電源を使用していないので NIM BIN 電源をオフにしなくても設置することができます。また、NIM BIN フレーム (N-KB 700-1) を使用することで、19 インチラックに 12 台搭載することが可能です。

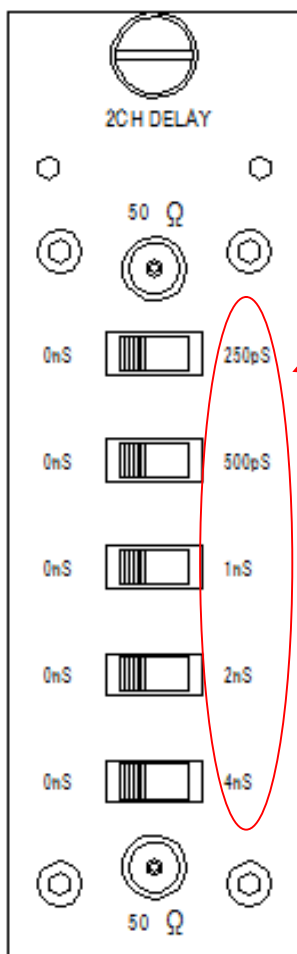
入出力はリモコネクタなので、50Ω系のリモケーブルを接続してください。

3.2 遅延時間の設定方法

本モジュールは、同軸ケーブル (RG58AU) を 1nS あたり 20 cm として設定しております。基板とスイッチでの遅延により遅延時間に誤差が生じます。また、内部遅延時間として 0nS の時に約 1nS のオフセットがあります。ディレイを合わせる時に注意してください。

① プリセット遅延時間について<スイッチの組合せ>

必要とする遅延時間を 250pS ステップで設定できますので、必要とする遅延時間のスライドスイッチを組合せて遅延時間の設定をしてください。



こちら側にスライドスイッチを動かして設定します。

4 フロントパネルイメージ

